

2017年 4月号
通巻 180号

発行所
岩手県盛岡市中央通3丁目8-16
電話019-651-0810
FAX019-653-1057

岩手県同胞生活相談総合センター

ハナ



講師の室岡先生を紹介する姜幸一先生(3/22)

毎月25日発行 0円 同胞生活情報誌 ハナ songsu75@yahoo.co.jp

「ウリウネンの日」開催

3月22日、ウリ信岩手出張所主催の「ウリウネンの日」がホテル東日本にて開催された。

今回は室岡整形外科の室岡玄洋院長をお招きしく骨粗鬆症とロコモティブシンドローム>ついでの講演をしていただいた。

骨粗鬆症が老化から起因するのは確かだが、適度な運動と骨を丈夫にする栄養の取り方、早期の治療などで防ぐことが出来るものであるとわかりやすくお話ししていただいた。また簡単に出来る<体操>なども教えていただいた。

講演に先立ちウリ信琴正煥副理事長と金堅一所長から業況報告があり決算に向けての協力をお願いがあった。

講演終了後懇親会が行われた。



大震災6周年に際し被災同胞を慰問

3月2日、東日本大震災6周年にちなみ、総聯本部は釜石、大槌、大船渡を訪れ、被災同胞を慰問した。昨年、5年余り続いた仮設住宅生活から<災害復興住宅>へと移った方々を中心に訪ねた崔本部委員長は、被災同胞を思う岩手と全国の同胞の想いも合わせてお見舞いの言葉を伝え、被災同胞を励まし、慰労した。慰問を受けた同胞たちは震災から6年が過ぎても、被災地を忘れず励ましてくれたことに感謝を表した。

被災同胞の苦労を忘れることなくこれからも支援の輪を広げよう！

卒業おめでとう！

3月12日、朝鮮大学校第59回卒業式が行われ、崔慧瑛さんが卒業した。政治経済学部を卒業する慧瑛さんは在学中に空手の朝鮮代表として国際大会にも出場するなど活躍した。

慧瑛さんは中学まで東北学校で寮生活を送り、高校は親戚の家から東京中高へ通い、16年間の民族教育課程をすべて終えた。

4月からは社会人として同胞社会の一員となる。

慧瑛さん、卒業おめでとう！
これからの活躍を期待します。



2017年度朝大卒業生祝賀会

3月28日、『2017年度朝大卒業生祝賀会』が盛岡市の焼肉『明月館』で行われ、卒業生の崔慧瑛さんご両親が招待された。嚴彬哲副会長から花束と記念品が贈られ、崔憲植『朝大岩手同窓会』

会長が祝辞を述べた。李求喆副会長が乾杯の音頭を取った。

また東京中高の中級部を3月に卒業した妹の慧琳さんにも記念品が贈られた。慧瑛さんは

「同胞の愛と期待に応えるため、祖国と同胞社会に貢献出来るようがんばります」と決意をのべた。



いもじょも掲示板

■東京朝鮮中高級学校 入学式

日時：4月9日(日) 10時～

会場：東京朝鮮文化会館

※崔慧琳さんの高校入学式です。

■県南支部「太陽節」105周年

記念講演会

日時:4月12日(水)14:30～16:00

場所:北上市生涯学習センター

締切:4月5日(水)

連絡先: 姜 019-651-0810

■盛岡支部「太陽節」105周年

記念講演会・祝賀会

日時：4月21日(金) 午後3:00～

会場：講演会 本部会館 午後3時～

祝賀会 明月館 午後5時～

会費：5,000円

締切：4月14日

連絡先: 姜 019-651-0810

■北東北青商会第4回総会

日時：4月25日(火) 午後6:00～

会場：総聯秋田本部会館

ドクターの健康講座

第169回 『深部静脈血栓症』

長時間、脚を動かさないでいると脚の静脈の血の流れが悪くなり、そこに血の固まり、すなわち「血栓」が発生しやすくなります。

長時間飛行機に乗って座りっぱなしで脚を動かさないでいる人に多く発生することからエコノミークラス症候群ともいわれています。

聞いたことがありますね。特に高齢、肥満、がん、手術後(特に股関節や下腹部の手術後)、妊娠や出産後、避妊薬や更年期障害の治療のホルモン剤を服用している方、震災などで避難所生活をしている方に発生します。症状がないこともあります。ほとんどの場合、片脚のふくらはぎや太ももが腫れて痛みがでたり皮膚が赤くなったりします。一番こわいのはこの血栓が脚ではなく肺静脈に起こると命にかかわることもありますので胸痛などの症状にも注意が必要です。

昔と違い手術の翌日にはベッドから起こして早く歩行を開始させているのは血栓症の予防のためです。予防には、歩行や足首の運動、脱水にならないように水分の補給が大事です。又、太ももまでの弾性ストッキングも有効です。

血栓ができてしまったら抗凝固剤で治療しますが比較的時間もかかり大変です。大事なことは予防をすることです。

さあ身体を動かし水分も補給しましょう。

(協力:幸クリニック院長 姜幸一先生)

哀れな親米保守

朴槿恵弾劾の無効を主張する南の保守勢力は、自分たちが「親米」であることを隠さない。この期に及んでも米大統領に救済を求めている。ホワイトハウスが運営する請願サイトに投稿し、「朴槿恵は弾劾されてはならない」のタイトルで署名運動を行った。▼このサイトに請願書が投稿されてから30日間に10万人の支持が集まると、ホワイトハウスは案件を検討し、60日以内に回答を示す。ところが定められた期間内に署名は1万227人しか集まらなかった。キャンドルを灯した民衆によって朴槿恵が断罪されから、南の親米保守は衰退が著しい。▼憲法裁判所の判断が下された後も、弾劾無効を叫ぶ「太極旗集会」が続いている。そこでも星条旗がなびいている。朴槿恵の擁護者たちは、米国にすがれば何事も実現すると考え、自分と違う考えの持ち主に「親北」のレッテルを貼る。このような対米従属と反北のイデオロギーが民衆を抑圧する独裁政治を支えてきた。しかし民衆がその牙城を崩した。米国は、糾弾された独裁者を救護しなかった。オバマも、トランプも朴槿恵を見捨てた。▼キャンドル集会と対極をなす弾劾無効集会は、民衆が清算すべき悪弊をいみじくも映し出している。片手に太極旗、もう一方の手に星条旗。軍歌が鳴り響き、発言者は反北を煽る。朴槿恵を処罰するだけでは、新たな政治は生まれない。民族自主の旗を掲げ、親米保守の命綱を断ち切らなければならない。(朝鮮新報 春夏秋冬から転載)